



サザエさんに出てくる近所の方々です。テレビでご覧になる人も多いでしょう。



サザエさんの中では、隣のお軽さんとフネが塀越しに会話をするシーンがあります。塀の高さは 120cm くらい。家の中の声や気配が、柔らかく伝わり合う関係です。低すぎず高すぎず、丸見えでもなく隠れもせず。たかが塀ですが、されど塀。住む人の近隣関係にそれは大きな役割を担っています。

サブちゃんが、「チワー。三河屋で〜す。」と勝手口から入ってきます。昔の家庭では、瓶ビールをケースでストックしていました。彼はミツバチのように各家庭を巡回し、あちこちの出来事が彼の口から伝わります。1 班では生協のトラックが時々やってきますが、それが、昔のサブちゃんの代役になっているようです。

サザエさんの番組で、密かに期待していることがあります。町内会のように、運動会や餅つき大会が行なわれるシーンです。話としては面白そうで成立しそうですが、おそらく脚本を書いている人が、そういう環境にいないのかも知れません。

私は、技術色の強い一級建築士というより、人と環境の関係を考える建築家として仕事をしています。最終回なので、どうしても生活環境を話題にしてしまいました。

防災対策で、最も大切なことはコミュニケーションです。装置や器具、マニュアルや手段を論ずる前に、町内の人間同士のつながりが大前提でしょう。幸いなことに、私の近所では、それが上手く行なわれています。